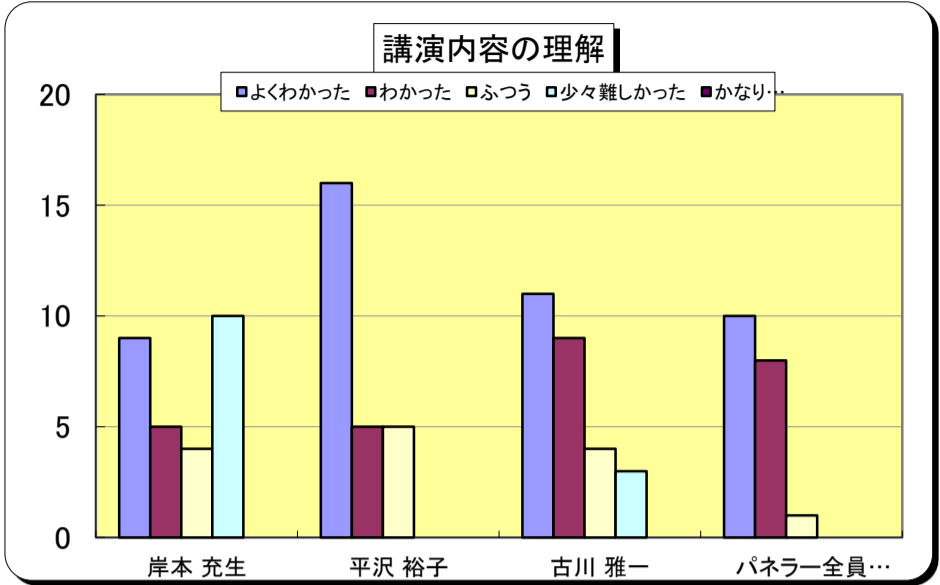
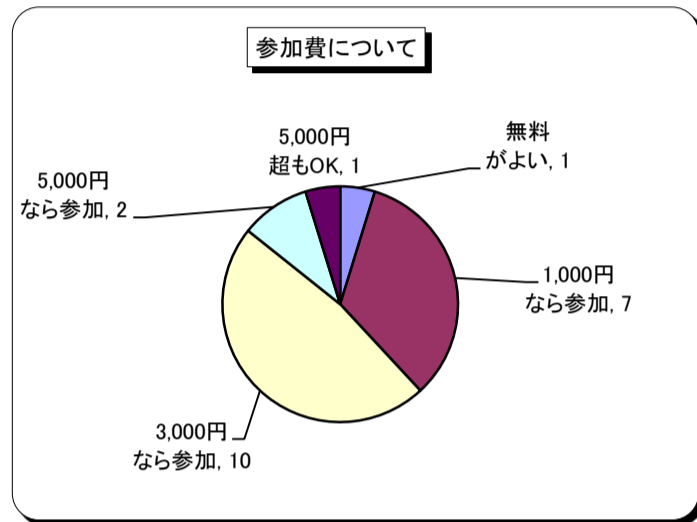


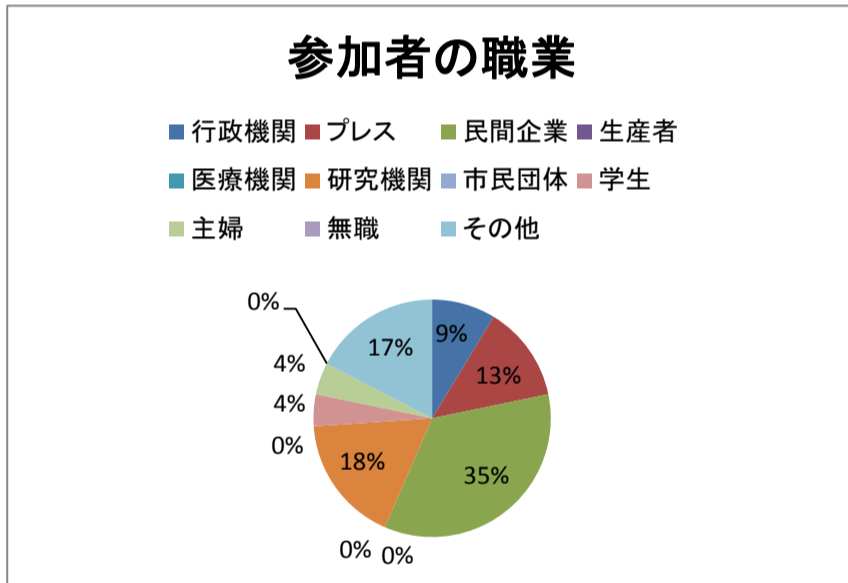
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食の安心に資するための基準値はどうあるべきか	岸本 充生	9	5	4	10	0
2	メディアから見た食の安全	平沢 裕子	16	5	5	0	0
3	リスク情報の伝え方を考える	古川 雅一	11	9	4	3	0
4	パネル・ディスカッション: 『消費者の食の安心につながるリスコミを議論する』	パネラー全員 進行 山崎	10	8	1	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	1	7	10	2	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者の食の安心につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか。	(別紙)				



職業	人数
行政機関	2
プレス	3
民間企業	8
生産者	0
医療機関	0
研究機関	4
市民団体	0
学生	1
主婦	1
無職	0
その他	4



各演者のご講演やフォーラム全体に対する参加者のコメント集

コメント番号	コメント内容	発言者
1	食の安心に資するための基準値はどうあるべきか	岸本 充生
1	少しマニアックすぎる印象でした。生活者としてどう受けとめればいいのか、もう少しアドバイスやヒントがあればよかったですと思います。	
3	事例は多いがそれぞれの社会的・技術的背景は多岐にわたる。	
7	導入はよく判りましたが、途中から(事例の理解不足ですが)判らなくなりました。	
8	こういう会にあまり参加されないということで今日は貴重な回でした。有難うございます。先生のお人柄もよく分かってテーマも大変興味深かったです。本購入してみます。	
11	とても賛同できた。	
12	基準値が出せないでALARAでというのはわからないではないが、メーカーの人間としては何らかの値で規制してもらいたいというのが正直なところです。	
16	閾値のデメリットは今まで考えたことがなかったので気がありました。が、多くの一般消費者に対しては、閾値のデメリットよりもゼロリスクを追求してしまうデメリットのほうが大きいと感じます。情報の受け取り手の知識レベルによって同じ話をしても、より誤解を助長することもあるのではと思います。	
17	「ALARAの一人歩きに備えたい」というまとめになるほどと思った。理想論は大事だと思う。仮に現実に寄せていくにせよ。	
18	とてもお話はわかりやすかったのですが、自分の勉強不足で理解しきれなかったので復習したいと思います。	
19	難しい点もあったが、新しい視点で大変参考になりました。	
20	MOEやALARAの限界性についてよく理解出来ました。	
21	当方の知識が乏しいので、もう少し勉強します。	
22	カタカナ、英語などがたくさん出てきたが最初に日本語で簡単に説明があると助かる。	
26	ゼロリスクはありえない。だけど何でも危ないでは生きていけない。安心の線引きは難しい。	

2 メディアから見た食の安全		平沢 裕子
1	デスクに認められないんですね。難しいですね。というところをこえて、どう努力されているのかを別の機会にでもお聞きできればと思います。	
3	ナイーブな感想が中心と受取れた。唐木氏は自身が政府や専門家への不信を招く言動をしていることも知るべきであろう。	
6	消費者の代表的立場として、かつ多くの裏付けをもって記事を作られていて大変重要な仕事だと思いますが、本日の講演内容は会社的に大丈夫だったでしょうか。サラリーマンとして気になりました。	
7	具体的な事例で記者の苦勞が(記者の目線が)よく判りました。	
8	事例に基づくお話で良かったと思います。	
9	食品関連で数少ない信頼に値する記者である平沢さんも以前はダメ記事を書いていたのが意外でした。	
10	めったに聞けない新聞関係の人の話を聞けておもしろかった。	
12	大変興味深いテーマを企画していただきありがとうございます。記事の裏側に様々な立場のせめぎ合いがあるのですね。多くの人は「新聞記事は真実」と思っていますが、まず疑ってかかるべきと思いました。	
15	メディア側にも正しく伝えられないもどかしさ。消費者の求める事がエンタティメント重視なのが問題に感じました。	
17	「御自分の記事を反省的に取り上げる」という姿勢になるほど大事なことだと思った。「BSE」がらみは、科学的視点から見ると、ただけでない。	
18	メディアの在り方をかえていくために、私たちの投書や書きこみだけでなくメディア側からの働きかけも必要ではないでしょうか。一般市民の中では、すでにセンセーショナルな記事は信用できないとした流れがあるように感じます。	
20	岸本先生の言われる周辺ルートでどう国民の理解が進むのかということが理解できました。(周辺と中心の両論併記が多いのではないかと)	
21	「この事故で危険になりました」しかしその後は「是正され安全になりました」は確かにありません。しかし消費者の関心も無くなるのも事実だと思います。	
22	よく知っている内容だった。	
26	「福島もモニタリングも税金使ってる」の一言にショックを受けました。後からムダなことやってたと言われたいようにしたいと思いました。	
27	読者サービスに「よかった」と伝える、というお話は参考になりました。できるだけやってみます。	

3 リスク情報の伝え方を考える		古川 雅一
1	食の安全にひきよせたエピソードがあればもっといいと思いました。	
3	面白かった。	
7	専門用語も例え話で比較的よく理解できました。	
8	経済学という切り口が興味深かったです。事例について分かったようで分からなかったのも、また機会があったら同じテーマでも聴きたいと思えます。	
10	具体的な例のおかげで解りやすかった。	
15	リスク情報が正しく伝わらない理由を統計的に説明されて大変興味深くわかりやすかった。	
16	さまざまなリスク認知に影響を与える要因についてはわかりましたが、現状とのリンクが弱いので印象に残りにくいのが残念な感じがしました。	
17	専門家のバイアスと消費者のバイアスについて、バランスよく話されたこと参考になりました。	
18	リスク認知における人の心理がよくわかりました。今後その理論をもとにしたリスコミの具体的な手法を考えていきたいです。	
20	こちらも両論併記といった前の演者に引き継いだお話が出て良かったと思えます。	
21	難しいというより”身につませ”ました。	
22	経済学視点からの話ははじめてだったが内容は理解できた。で、どうしたらいいの？を聞いたかった。	
26	行動経済学の視点は興味深かった。	

4 パネル・ディスカッション: 『消費者の食の安心につながるリスコミを議論する』		パネラー全員 進行 山崎
1	各講演の理解が深まりました。	
3	質問の紹介がパネリストの意見を引き出す上で有効で興味深かった。	
7	質疑のフォローがよい。	
16	さまざまなリスク認知に影響を与える要因についてはわかりましたが、現状とのリンクが弱いので印象に残りにくいのが残念な感じがしました。	
19	会場の参加者にも専門家がいらっやと思うので、内容によっては参加者に発言してもらっても良かったかもしれません。	
20	率直な意見交換がされて大変良かったと思えます。	
22	時間に余裕があったので、パネラーだけでなくフロアーからの意見を求める場面があっても良かった。	
23	ディスカッションの時間が多く、良かった。	

5 今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	
1	テーマをしぼった方が、より充実した議論になると思いました。
3	違う立場(岸本さんと古川さんは背景は二人とも経済?)の方が話をされ興味深かった。
7	異なる切り口の講演で興味深く参考になった。パネルディスカッションも率直に進行していて好感。
9	とても有益な情報は得られますが、一般消費者のリテラシーを考えると絶望する面もあります。
11	新しい知識が得られた。
13	専門性が高くとても勉強になりました。
15	リスコミにこれだけ関心のある方の意見が社会やメディアより発信されていない事が残念です。消費者側にも無関心でなく、もっと理解するよう歩みよる事が大切だと思いました。楽しく参加させていただきまして。ありがとうございました。
16	各先生の扱う話のレベルがかなりバラバラで面白かったのですが、メインターゲットはどんな人を設定されているのかな、とちょっと思いました。
17	岸本先生も古川先生もバランスのとれた”説明”でしたが、平沢先生は上手く言えませんが偏りがあるように思えます。山崎先生「消費者は勉強せよ」路線は、一理あるし私もそう思います。しかし政策決定側や行政の側の責任の問題が個人の判断の問題に転嫁されてしまうオソレはないのか?
20	全頭検査については国民の圧倒的支持の中で行われているので、民主主義国家としては止むを得ない側面があるのではないかと?政治家(国会議員)にも全頭検査に反対の方はいるのか?
21	メディアからの情報を自分でどうさばくか?さばける力を持つか?
24	自分が知らなかったことばかりで、大変勉強になりました。
25	本日は途中退席となり残念ですが、またの機会に勉強させていただきます。
26	自分の業務を客観的にみて、ムダをへらして有効性を高める努力をしようと思いました。情報の伝え方についても工夫が必要なのだと思いました。

6	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
3	行政や社会に発信、提案してゆくようなテーマ設定があると良い。
4	食品添加物は”悪”だと強調されて発信されているような方とのディベート
7	今日のようにメディアの方々の講演をより多くお願いします。
8	科学データの見方(深掘りの仕方、考察へのツツコミ方とか)
13	食中毒について
18	対消費者だけでなくメディアや企業に向けたリスコミの動き、取りくみ
19	食品会社の取り組みを知りたいです。
20	バランスよくテーマを選ばれると思うのでこのままで良いかと思えます。あえて言うなら、食の安全・安心の分野で産・官・学・消・メディアの果たすべき役割。あるいは、どう連携すれば今の状況を少しでも変えられるのかといったテーマ
21	輸出に関するリスク←輸入は多くあるが輸出は少ないと思えます。
26	風評の低減方法
27	リスクコミュニケーターを育成するには、どうしたら良いかについて。必要な素養としてどんな能力があるか。

7	消費者の食の安心につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか。
---	------------------------------------

1	それを考えたくて、このフォーラムに参加しました。
3	上記のように社会的な傾向や風潮、特徴をベースにコミュニケーションを推進する。
6	感情に左右されずに、正確に科学的な情報を伝達することが大切だと思います。
8	「ネット情報の正しい見方マニュアル」振り回されたり、うのみにしないために・・
9	個人的には安心など切りすてるべきだと思います。専門家は安易に安心を大衆に与えるべきでない。安心は個人の責任で追求すべきで、その判断に必要な情報が提供されるべき。(できれば教科書レベルで・・)
11	教育
13	メディアのリテラシーを向上させること
15	古い年代の固まった意識が根強く残っているように感じます。(サッカリン、ズルチン→添加物、パラチオン→農薬)中学生世代からリスクについての正しい認識をはじめて伝えていくことが大切かと思えます。
18	安全≠安心を念頭においた情報の伝え方を知ること
19	消費者へのリスコミ普及
20	学校教育で、リスク、統計、単位についてしっかり教えること。
21	正しい食品・食材の知識の伝達
22	地道に正しい情報をわかりやすく発信しつづけること。
26	何が不安なのか「知らぬが仏」という気もします。何が危険で、どう回避すれば良いか具体策がわかっているといいと思います。